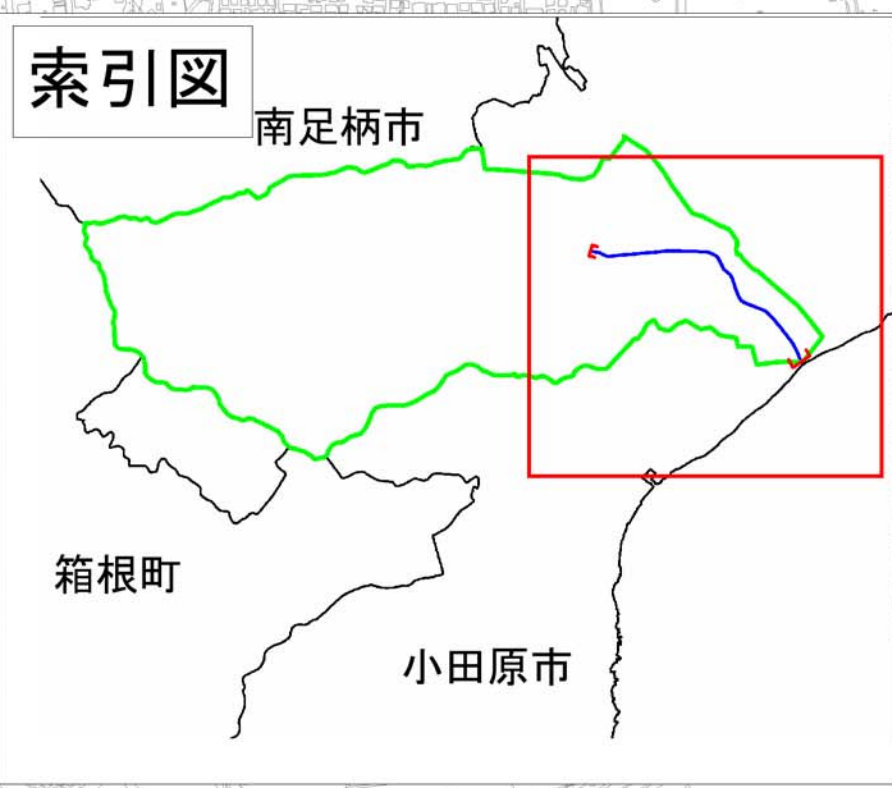
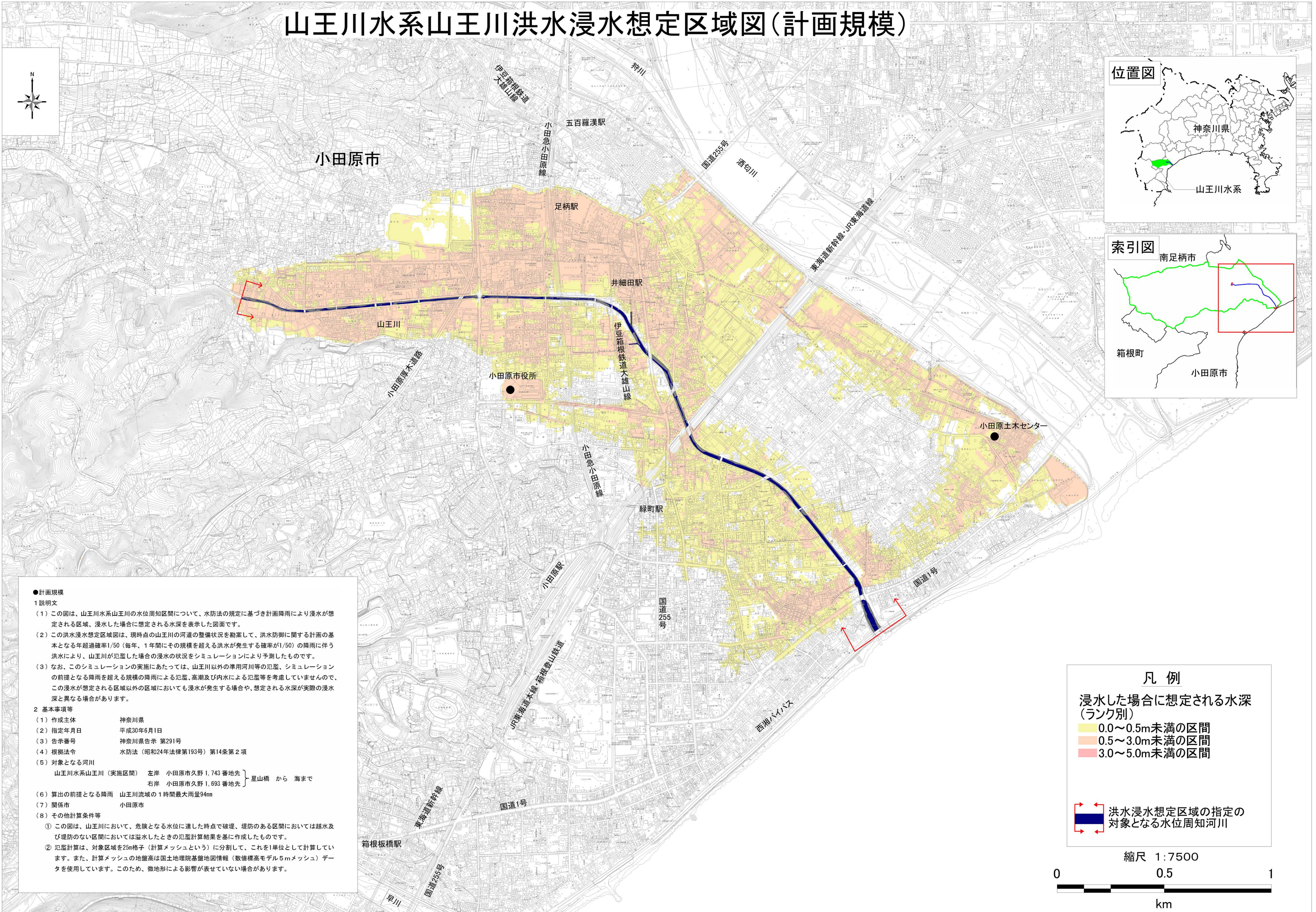


山王川水系山王川洪水浸水想定区域図(計画規模)



●計画規模

1 説明文

(1) この図は、山王川水系山王川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、現時点の山王川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50）の降雨に伴う洪水により、山王川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、山王川以外の準用河川等の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体	神奈川県
(2) 指定年月日	平成30年6月1日
(3) 告示番号	神奈川県告示 第291号
(4) 根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
(5) 対象となる河川	山王川水系山王川（実施区間） 左岸 小田原市久野 1,743 番地先 } 星山橋 から 海まで 右岸 小田原市久野 1,693 番地先 }
(6) 算出の前提となる降雨	山王川流域の1時間最大雨量94mm
(7) 関係市	小田原市
(8) その他計算条件等	① この図は、山王川において、危険となる水位に達した時点で破堤、堤防のある区間においては越水及び堤防のない区間においては溢水したときの氾濫計算結果を基に作成したものです。 ② 氾濫計算は、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は国土地理院基盤地図情報（数値標高モデル5mメッシュ）データを使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.0～0.5m未満の区間
- 0.5～3.0m未満の区間
- 3.0～5.0m未満の区間

洪水浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川



※A1判出力時は1:7,500、A3判出力時は1:15,000

山王川水系山王川洪水浸水想定区域図は小田原市長の承認を得て、数値地形図データファイル(DM形式)を使用したものである。都計第74号この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第216号)